

暮らし情報

支援

認知症座談会

とき:6月15日(金)午後1時～3時30分
ところ:つつじが丘地域福祉センター(佐藤五丁目) **対象:**認知症の方の介護者(初参加者のみ) **内容:**認知症の方の家族同士で介護の悩みなどについて話し合い、講師からアドバイスを受けます **講師:**伊苅弘之さん(福祉村病院副院長) **定員:**10人(申込順) **受講料:**無料 **申し込み:**6月8日までに住所、氏名、電話番号を豊橋市東部地域包括支援センター(☎64・6666)



納涼まつり(夜店)

とき:6月の金・土・日曜日午後6時～9時30分 **ところ:**豊橋球場周辺(豊橋公園内) **内容:**夏の風物詩「夜店」。金魚すくい、わた菓子など多くの露店が立ち並びます **その他:**駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してください(市電「豊橋公園前」下車) **問合先:**観光振興課(☎51・2430)※開催日のみ納涼まつり本部(☎52・3848)

幼児ふれあい教室 英語でベビーマッサージ

とき:5月31日、6月7日・14日・21日の木曜日(全4回) 午前10時30分～11時30分 **ところ:**生活家庭館 **対象:**生後3～9か月の子どもと保護者 **内容:**マッサージとともに、簡単な英語でコミュニケーションを深める言葉がけや、手遊びなどを学びます **講師:**三谷みちるさん(キッズインターナショナルスクール園長)ほか **定員:**20組(申込順) **受講料:**1,000円(別途オイル代630円程度必要) **申し込み:**5月18日～30日に生活家庭館(高師町字北原☎45・4014)

実験ショー 光のふしぎ

とき:6月3日～7月1日の日曜日午前11時50分、午後2時50分(各約25分) **ところ:**地下資源館(大岩町字火打坂) **内容:**消えるビーカー、虹のふしぎなど、おどろきの光の性質を身近な材料で実験して紹介します **参加料:**無料 **申し込み:**不要 **問合先:**地下資源館(☎41・2833)

自然観察会 池の生き物観察とザリガニ釣り

とき:6月23日(土)午前10時30分～午後2時(雨天順延24日(日)) **ところ:**視聴覚教育センター(大岩町字火打坂)ほか **集合・解散:**現地 **対象:**どなたでも(小学生以下は保護者同伴) **内容:**外来種ザリガニの体のつくりや習性・生活、池にすむ生物について学びます **講師:**当館学芸員 **定員:**35人(抽選) **参加料:**200円 **申し込み:**6月8日(必着)までに返信先明記の往復はがきで教室名、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を自然史博物館「池の生き物観察」係(〒441-3147大岩町字大穴1-238☎41・4747)

6月のふれあい・子育て情報



■妊娠・出産に関する相談

とき:月～金曜日午前9時～午後5時 **対象:**市内在住の女性とパートナーなど **内容:**助産師などが妊娠・出産に関係する内容の相談に応じます

■産婦・新生児訪問指導

対象:はじめての出産後および1か月以内の方 **内容:**育児や授乳方法などについて助産師などが家庭訪問を行い、相談に応じます **その他:**詳しくは母子健康手帳と同時配布の「パパとママへ」を見てください

■大きくなあれ

〈キッズクラス〉
とき:4日(月)午前10時～11時30分 **対象:**おおむね1歳6か月以上の低出生体重児・双子・三つ子の子どもと保護者 **内容:**親子あそびと話し合い **持ち物:**母子健康手帳

■パパママ教室

〈平日コース〉
とき:11日(月)午後1時30分～4時 **対象:**妊婦と夫 **内容:**妊娠中の栄養の話、出産と育児の話、母乳の話、赤ちゃんの抱き方やおむつ交換などの実技、先輩ママとの交流、グループワークによる仲間づくり **定員:**20組(申込順)

〈休日コース〉

とき:10日(日)午前9時30分～午後0時30分 **対象:**平日参加が困難な妊婦と夫 **内容:**妊娠中の栄養の話、出産と育児の話、母乳の話、赤ちゃんの抱き方やおむつ交換などの実技、グループワーク **定員:**20組(申込順)

■外国人母子保健相談

とき:11日(月)午前9時30分～11時 **対象:**外国人の乳幼児と保護者 **内容:**妊娠・出産・育児についての相談、乳幼児の身体測定 **定員:**4組(申込順) **持ち物:**母子健康手帳 **その他:**ポルトガル語・英語の通訳がいます

■離乳食講習会

〈モグモグ教室〉
とき:13日(水)・22日(金)午前10時15分～11時30分 **対象:**5か月前後の子どもの保護者 **内容:**離乳食の講話と調理デモ、試食 **定員:**25人(申込順)

〈ところ〉

明記していない場合は保健所・保健センター(中野町字中原「ほいこぶ」内) **参加料:**無料 **申込先:**こども保健課(☎39・9153)※定員のないものは直接現地(新生児訪問指導を除く)

精神保健福祉家族教室・うつ病家族教室

日程など: 右表 **ところ:** 保健所・保健センター(中野町字中原「ほいっぷ」内) **対象:** こころの病(主に統合失調症・うつ病)を持っている方の家族 **定員:** 各50人(申込順) **参加料:** 無料 **その他:** 1日のみの参加可 **申し込み:** 各申込期限までに健康増進課(☎39・9145)

■精神保健福祉家族教室・うつ病家族教室

とき	内容／講師※敬称略	申込期限
6月21日(木) 午後1時30分～3時30分	講演「広がる「うつ」の問題について 新型うつから双極性障害も含めて」ほか／森田浩之(公園通りクリニック院長)ほか	6月14日
6月28日(木) 午後2時～3時30分	講演「統合失調症の理解のために」／小久保至浩(至クリニック院長)	6月21日
7月11日(水) 午後1時30分～3時30分	社会福祉サービスについて／市職員	7月4日
8月24日(金) 午後1時30分～3時30分	統合失調症家族交流会／保健師	8月17日

農薬の飛散防止に努めましょう

農薬は病害虫の防除や除草などにおいて有効な資材ですが、飛散することにより、人や動物の健康を害するおそれがあります。法律により定められた基準に基づいて適正に使用するとともに、使用にあたっては周囲への配慮が必要です。

〈農薬を使用する場合の注意事項〉

- 農林水産省の登録番号が入っている農薬を使用しましょう。番号が表示されていないものは、農薬として認められていませんので、使用しないでください。
- ラベルに記載されている適用作物、希釈倍数、使用時期、使用方法などを十分確認して使用しましょう。
- 散布前には周辺の住民に対して、事前に、散布目的、散布日時を使用する農薬名などを連絡しましょう。

- 農薬は病害虫の防除や除草などにおいて有効な資材ですが、飛散することにより、人や動物の健康を害するおそれがあります。法律により定められた基準に基づいて適正に使用するとともに、使用にあたっては周囲への配慮が必要です。
- 農薬を使用する場合は、登録番号が入っている農薬を使用しましょう。番号が表示されていないものは、農薬として認められていませんので、使用しないでください。
- ラベルに記載されている適用作物、希釈倍数、使用時期、使用方法などを十分確認して使用しましょう。
- 散布前には周辺の住民に対して、事前に、散布目的、散布日時を使用する農薬名などを連絡しましょう。

- 農薬を散布したら散布日時や場所、使用した農薬名、希釈倍数、使用量などの記録を残しましょう。
- 農薬は畑やハウスなどに安易に放置せず、必ず持ち帰り、鍵をかけた保管しましょう。また、空容器や空袋は、適正に処理しましょう。
- 農薬の使用前後には、防除器具を点検し、十分に洗浄されているか確認しましょう。
- 周辺で農作物が栽培されている場合の注意事項

- 食品衛生法では、基準値を超えた農薬が残留する食品の流通を禁止しており、周辺から飛散した農薬が検出された場合であっても出荷停止などの処分の対象となります。
- 散布前には、周辺の農作物栽培者に対して、事前に、散布目的、散布日時、使用する農薬名などを連絡しましょう。
- 使用する農薬はできるだけ周辺の農作物にも使えるものを選びましょう。

情報ピックアップ

- 農薬散布は無風や風の弱いときなど周りに影響の少ない天候や時間帯を選び、散布するときも風やノズルの向きに注意し、周囲に飛散しないようにしましょう。また、散布量は必要最小限に留めましょう。
- 農薬を散布したら散布日時や場所、使用した農薬名、希釈倍数、使用量などの記録を残しましょう。
- 農薬は畑やハウスなどに安易に放置せず、必ず持ち帰り、鍵をかけた保管しましょう。また、空容器や空袋は、適正に処理しましょう。
- 農薬の使用前後には、防除器具を点検し、十分に洗浄されているか確認しましょう。
- 周辺で農作物が栽培されている場合の注意事項

- 食品衛生法では、基準値を超えた農薬が残留する食品の流通を禁止しており、周辺から飛散した農薬が検出された場合であっても出荷停止などの処分の対象となります。
- 散布前には、周辺の農作物栽培者に対して、事前に、散布目的、散布日時、使用する農薬名などを連絡しましょう。
- 使用する農薬はできるだけ周辺の農作物にも使えるものを選びましょう。

問合せ先 市役所農政課(☎51・2475)、愛知県東三河農林水産事務所農政課(☎54・5111)内線338)・農業改良普及課(☎63・3529)、JA豊橋営農指導課(☎25・3552)

光化学スモッグに注意してください

光化学スモッグは、春から夏にかけ日差しが強く風の弱い日に発生しやすくなります。光化学スモッグが発生すると空は白っぽく、もやがかかった感じになり、目がチカチカしたり、のどが痛くなったりします。発生した場合は順次、予報・注意報・警報・重大警報が発令されます。

■発令のお知らせ

- テレビ・ラジオ放送、施設への標示板の掲出など
- 注意報以上が発令された場合には、市内一斉通報用防災無線で伝えます

■発令時の注意

- 外出はできるだけ避ける
- 屋外での運動をなるべく控える
- 自動車の使用を控える
- 目やのどに刺激を感じたときは、すぐに目を洗い、うがいをします。症状が改善されない場合は、医療機関で診察を受ける

■昨年の発令状況

豊橋地区では予報が2回発令されました。

■メール配信サービスについて

発令情報サービスに登録すると、発令時に携帯端末に注意報などのメールが配信されます。

● モバイルネットあいち (<http://www.pref.aichi.jp/mobile/>)

● 豊橋ほっとメール(登録用メールアドレス tou@anzen-ansin.net)に空メールを送信

「共通事項」問合せ先 環境保全課(☎51・23080)、生活衛生課(☎39・9125)

情報ピックアップ